

反射テスト 集合 知識 証明 02

1. 整数の集合を \mathbb{Z} で表す. 次の2つの集合 A と B について考える.

$$A = \{ 6m - 1 \mid m \in \mathbb{Z} \}$$

$$B = \{ 3n - 1 \mid n \in \mathbb{Z} \}$$

(S級 2分30秒, A級 3分40秒, B級 5分, C級 7分)

(1) 下の をうめよ.

$$\overline{(A \cup B)} = \{ \text{ } \mid x \in \mathbb{Z} \}$$

(2) A と B の関係について最も適当なものを選べ.

- ① $A = B$ ② $A \subseteq B$ ③ $B \subseteq A$

(3) (2) を証明せよ.

2. 整数の集合を \mathbb{Z} で表す. 次の 2 つの集合 A と B について考える.

$$A = \{ 2m + 1 \mid m \in \mathbb{Z} \}$$

$$B = \{ 6n - 1 \mid n \in \mathbb{Z} \}$$

(S 級 3 分, A 級 4 分, B 級 5 分 30 秒, C 級 8 分)

(1) 下の をうめよ.

$$\overline{(A \cup B)} = \{ \text{ } \mid x \in \mathbb{Z} \}$$

(2) A と B の関係について最も適当なものを選べ.

- ① $A = B$ ② $A \subseteq B$ ③ $B \subseteq A$

(3) (2) を証明せよ.

反射テスト 集合 知識 証明 02 解答解説

1. 整数の集合を \mathbb{Z} で表す. 次の2つの集合 A と B について考える.

$$A = \{ 6m - 1 \mid m \in \mathbb{Z} \}$$

$$B = \{ 3n - 1 \mid n \in \mathbb{Z} \}$$

(S級 2分30秒, A級 3分40秒, B級 5分, C級 7分)

(1) 下の \square をうめよ.

$$\overline{(A \cup B)} = \{ \square \mid x \in \mathbb{Z} \}$$

★ド・モルガンの法則 $\overline{(A \cup B)} = \bar{A} \cap \bar{B}$

ド・モルガンの法則から, $\overline{(A \cup B)} = \bar{A} \cap \bar{B} = \bar{A} \cap B$

★具体例を考える.

$$A = \{ \dots, -13, -7, -1, +5, +11, \dots \}$$

$$B = \{ \dots, -13, -10, -7, -4, -1, +2, +5, +8, +11, \dots \}$$

$$\bar{A} \cap B = \{ \dots, -10, -4, +2, +8, \dots \}$$

よって, $\overline{(A \cup B)} = \{ \boxed{6x - 4} \mid x \in \mathbb{Z} \}$

☆別解 $6x + 2$ や $6x + 8$ など, もちろん正解.

(2) A と B の関係について最も適当なものを選べ.

- ① $A = B$ ② $A \subseteq B$ ③ $B \subseteq A$

★具体例を考える.

(1) で考えた具体例から, $A \subseteq B \Rightarrow$ 答え ②

(3) (2) を証明せよ.

あらゆる整数 m に対して,

$$6m - 1 = 3 \cdot 2m - 1$$

$n = 2m$ を満たす整数 n が必ず存在するから, $3 \cdot 2m - 1 \in B$.

A のあらゆる要素が B に属するから, $A \subseteq B$.

★包含関係の証明

$P \subseteq Q \Leftrightarrow$ 集合 P のあらゆる要素が, 集合 Q に属する.

\Leftrightarrow P のあらゆる要素 p に対して, $p \in Q$

$\Leftrightarrow \forall p \in P, p \in Q$

←記号表記「 \forall (ターン A)」は「あらゆる」の意.

$\Leftrightarrow \forall p \in P, \exists q \in Q, p = q$

←記号表記「 \exists (ターン E)」は「存在する」の意.

★部分集合の記号

$\subset, \subseteq, \subseteqq$ も同じ意味.

真部分集合 (部分集合だが等しくない集合) を表すのに, \subsetneq を使うこともある.

★「 \forall (ターン A) \sim 」は「あらゆる \sim 」の意.

★「 \exists (ターン E) \sim 」は「ある \sim 」, 「 \sim が存在する」の意.

[全称記号・存在記号の否定](#) を参照.

2. 整数の集合を \mathbb{Z} で表す. 次の2つの集合 A と B について考える.

$$A = \{ 2m + 1 \mid m \in \mathbb{Z} \}$$

$$B = \{ 6n - 1 \mid n \in \mathbb{Z} \}$$

(S級3分, A級4分, B級5分30秒, C級8分)

(1) 下の \square をうめよ.

$$\overline{(A \cup B)} = \{ \square \mid x \in \mathbb{Z} \}$$

★ド・モルガンの法則 $\overline{(A \cup B)} = \overline{A} \cap \overline{B}$

ド・モルガンの法則から, $\overline{(A \cup B)} = \overline{\overline{A} \cap \overline{B}} = A \cap B$

★具体例を考える.

$$A = \{ \dots, -7, -5, -3, -1, +1, +3, +5, +7, +9, \dots \}$$

$$B = \{ \dots, -7, \quad \quad \quad -1, \quad \quad \quad +5, \quad \quad \quad \dots \}$$

$$A \cap B = \{ \dots, \quad \quad \quad -5, -3, \quad \quad \quad +1, +3, \quad \quad \quad +7, +9, \dots \}$$

よって, $\overline{(A \cup B)} = \{ \boxed{6x + 1 \text{ 又は } 6x + 3} \mid x \in \mathbb{Z} \}$

☆別解 「 $(6x - 5)$ 又は $(6x - 3)$ 」なども, もちろん正解.

(2) A と B の関係について最も適当なものを選べ.

- ① $A = B$ ② $A \subseteq B$ ③ $B \subseteq A$

★具体例を考える.

(1) で考えた具体例から, $B \subseteq A \Rightarrow$ 答え ③

(3) (2) を証明せよ.

あらゆる整数 n に対して,

$$\begin{aligned} 6n - 1 &= 2 \cdot 3n - 1 \\ &= 2 \cdot 3n - 2 + 1 \\ &= 2 \cdot (3n - 1) + 1 \end{aligned}$$

$m = 3n - 1$ を満たす整数 m が必ず存在するから, $2 \cdot (3n - 1) + 1 \in A$.

B のあらゆる要素が A に属するから, $B \subseteq A$.

★包含関係の証明

$P \subseteq Q \Leftrightarrow$ 集合 P のあらゆる要素が, 集合 Q に属する.

\Leftrightarrow P のあらゆる要素 p に対して, $p \in Q$

$\Leftrightarrow \forall p \in P, p \in Q$

←記号表記「 \forall (ターン A)」は「あらゆる」の意.

$\Leftrightarrow \forall p \in P, \exists q \in Q, p = q$

←記号表記「 \exists (ターン E)」は「存在する」の意.

★部分集合の記号

$\subset, \subseteq, \subseteqq$ も同じ意味.

真部分集合 (部分集合だが等しくない集合) を表すのに, \subsetneq を使うこともある.

★「 \forall (ターン A) \sim 」は「あらゆる \sim 」の意.

★「 \exists (ターン E) \sim 」は「ある \sim 」, 「 \sim が存在する」の意.

[全称記号・存在記号の否定](#)を参照.